

「あなたの眼差し あなたへの眼差し」

～継承と再出発～

ルカ23：32～47

召天者記念式は、個人を懐かしく思うと同時に、私たちが自らの人生を顧みるときです。日本の伝統は、供養という儀式を行います。故人から歴史が継承された私たちが次へと歴史を継承する者としてふさわしいかを考える時です。時に私たちは、「クリスチャンのくせに。」と言われますが、クリスチャンの存在は、まちがった人生をもう一度戻そうとする人生なのです。

あなたの眼差し あなたへの眼差し 継承と再出発

多くの人は「あなたの眼差し」で生きています。これは、「人生にイエスと言う」か「人生がイエスと言う」かの違いです。多くの人は、「人生にイエス」と言って生きています。これは、「私の人生は良かった」または「悪かった」、「今日の私は良かった」または「悪かった」という生き方なので、その時々にかかる出来事で「イエス」が変わってしまいます。相手や自分に「イエス」という答えを自分で見いだそうとするので、自らが主体になり本質が変わってしまうのです。変わってはいけない本質は、「愛」「信じる力」「希望」なのです。

現実には過去になって行きます。この過去が生きる道の本質を見失わせてしまうのです。そうすると私たちは、本来したい生き方ができなくなり、失望し、そして絶望をもたらし、私たちの心に自己防衛が訪れるのです。

「人生にイエス」という生き方は、自分の人生を認めるために生き方を制し、悟り得るまで努力をし、保証はないけれど自分に安心を持つという生き方です。しかし、「人生がイエス」という生き方は、どんな過去があっても「イエス」と言ってくれる人がいたら、あなたの人生は色々あったけどそれでいいんだよと言ってくれる人がいたら、私たちはもう一度やり直す事ができるのです。人生が誇りなのです。

キング牧師は、わが子を失い、奏楽中の妻を白人に殺されました。その時キング牧師は、「彼女は私より先に帰って行った。私はまだ感謝することが出来る。私はまだ彼女のために生きることが出来る。」と言いました。キング牧師にとって、死が恐怖と断絶であったら、彼は人を憎んで生きてたでしょうが、そうではありませんでした。

私たちは、故人の命を、築いてきたヒストリーを継承するのです。人は、その目線を変えればどんなに悪いことをしても、償い、やり直せるのです。

イエスは言われた。「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに行くことはありません。(ヨハ14：6) こういうわけで、いつまでも残るものは、信仰と希望と愛です。その中で一番すぐれているのは愛です。(1コリント13：13)

東北の大震災で全てを失った人が、どうして人生を変えられたのでしょうか。「責任」「自制心」「挑戦」。この三つの決断をしたからです。目に見える状況で判断せず、八方ふさがりでも、山に向かって目を上げようとする人生を選んだからです。

教会は、ざん悔するところではなく悔い改めるところ。その教会にある、三つの十字架の右に架けられた人は、自らを変えず責任転嫁をしました。もう一方、左の十字架に架けられた人は、「おまえは神をも恐れぬのか。おまえも同じ刑罰を受けているではないか。われわれは自分のしたことの報いを受けているのだからあ

りまえだ。イエス様。あなたの御国の位にお着きになるときはわたしのことを思い出してください。」と自分の人生を顧みました。あなたはどちらを選びますか？

私たちは死を恐れ、死が断絶だと、長い間、日本の文化の中で思っていました。親が子を思う願いは、自分らしく本当のあなたで生きてほしいということです。私たちは、過去が良しとされ、今日から新しく生きる決断ができるのです。故人が本当に願う願いを、私たちは見出さなければいけません。

私たちが天に帰る時、良しとされた生き様を残す最期となりますように。人々に尊ばれ、その生きざまを継承したいと願うような最期をむかえるために、今日、もう一度、人生を顧みることができるとように。

チューインガムひとつ

せんせい おこらんとって
せんせい おこらんとってね
わたし ものすごく わるいことした
わたし おみせやさんの チューインガム とってん
一年生の子とふたりで チューインガムとってしてもてん
すぐ みつかってしもた
ぎっと かみさんが おばさんにしらせたんや
わたし ものも いわれへん
からだか おもちやみたいに カタカタふるえるねん
わたしが 一年生の子に 「とり」 いうてん
一年生の子が 「あんたも とり」 いうたけど
わたしはみつかつたらいやから いやや いうた
一年生の子がとつた でも わたしが わるい
その子の百ばいも千ばいもわるい
わるい わるい わるい わたしがわるい
おかあちゃんに みつからへんとおもつたのに
やっぱり すぐみつかった
あんなこわい おかあちゃんのかお 見たことない
あんなかなし そうなおかあちゃんのかお 見たことない
しぬくらい たたかれて 「こんな子
うちの子とちがう 出ていき」
おかあちゃんは なきながら そういうねん
わたし ひとりで 出ていってん
いつでもいく こうえんにいったら
よその国へいったみたい なきがしたよ せんせい
どこかへ いってしまおう とおもた
でも なんぼあるいても どこへも いくところあらへん
なんぼかんがえても あしぼっかりふるえて
なんにもかんがえられへん
おそうに うちへかえって さかなみたいに
おかあちゃんに あやまってん
けど おかあちゃんは わたしのかおを見て
ないばかりいる
わたしは どうして あんなわるいことしてんやろ
もう 二日もたつてるのに
おかあちゃんは まだ さみしそうにないてる
せんせい どないしょう

(要約者:秋山恭子)

(2018年4月29日)